

平成26年度進行管理・評価シート
水戸市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成25年3月29日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史的風致維持向上計画ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 備前掘沿道地区都市景観形成助成事業	4
3 北三の丸通り道路景観整備事業	5
4 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	6
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財指定, 調査, 保存管理計画策定等の推進	7
2 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	8
3 文化財に関する普及・啓発の推進	9
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「ヒカリモ培養, 公開へ」他	10
⑥その他	
1 偕楽園公園整備事業	11
2 御杉山坂道路景観整備事業	12

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	13
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

評価対象年度		平成26年度
項目		現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	○水戸市歴史的風致維持向上計画ワーキンググループ:計画の推進及び改定に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会:計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会:地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条第1項の規定により組織。計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成21年度より主要事業に順次着手しており、「水戸市補助機関に関する規定」に基づき、文化財保護行政を統括する教育次長を委員長に、都市計画行政を統括する都市計画部長を副委員長に置き、庁内の関係課長をもって組織する「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」を設置し、本計画の策定及び推進などに関する各部課間の合意形成及び連絡調整を行う。 【各会議の実施回数】 ①水戸市歴史的風致維持向上計画ワーキンググループ ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会 (1回) ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (1回)		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後の水戸市歴史的風致維持向上計画の改定に向けて、関係者・関係機関との連携をさらに強化し、十分な調整を図っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
①水戸市歴史的風致維持向上計画ワーキンググループ (座長:文化課長, 副座長:都市計画課長, 委員:関係課長補佐) ・計画の推進及び改定に係る課題に応じて開催している。		
②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会 (委員長:教育次長, 副委員長:都市計画部長, 委員:関係課長) ○第1回:平成26年9月1日開催 ・弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり基本構想(案)について ・旧水戸城大手門等復元整備基本計画・基本設計業務委託(案)について		
水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会		
③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (会長・副会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長) ○第1回:平成26年5月23日開催 ・平成25年度進行管理・評価シートについて		
水戸市歴史的風致維持向上計画協議会		

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
水戸市景観計画の活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大規模建築物等の景観誘導: 水戸市景観計画(平成20年度策定)及び水戸市都市景観条例(平成4年度施行)により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図っている。(平成26年度届出件数: 34件(水戸市全域))			
②高度地区による建築物の高さの制限: 重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図っている。			
③屋外広告物の行為の制限: 水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図っている(平成26年度許可件数: 665件(水戸市全域))。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域: 水戸市全域)。			
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他			
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。			
		<凡例> 赤…商業地域 緑…第一種低層住宅専用地域 黄…第一種住居地域 濃赤…防火地域 紫…準工業地域	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度
弘道館公園整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 ○国有財産:国直轄事業 ○県有財産:史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費国庫補助

計画に記載している内容 保存活用計画の策定, 施設の保存修理, 案内施設の整備等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘道館の歴史性を踏まえた環境整備を進め, 魅力向上を図るため, 平成26年度は次に掲げる事業に着手した。

①園内で枯死した樹木(エノキ1本)の伐採

②老朽化したトイレ前の柵の撤去, 新設(建仁寺垣)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伐採前



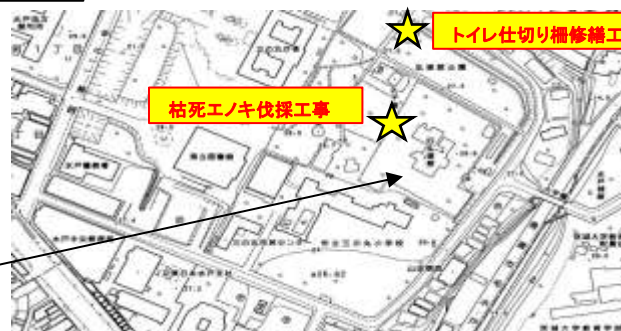
伐採後



修繕前



修繕後



正庁

トイレ仕切り柵修繕工事

枯死エノキ伐採工事

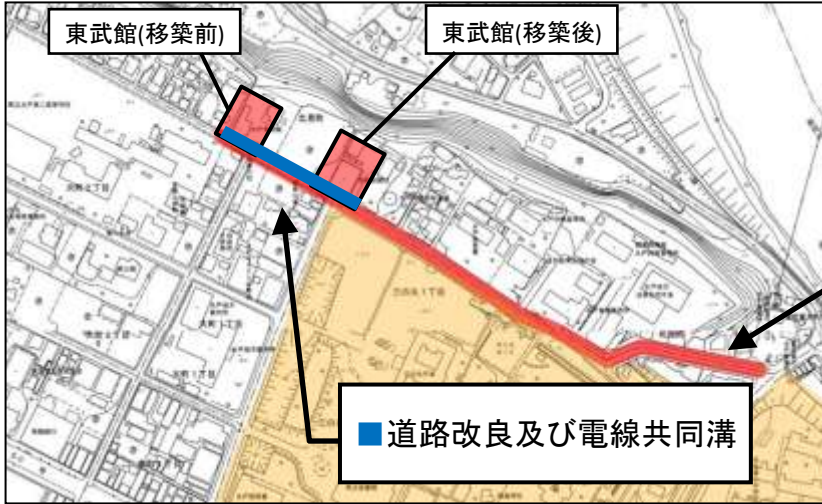
評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成26年度
項目		現在の状況
備前堀沿道地区都市景観形成助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成15年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	備前堀沿道区域における優れた都市景観づくり(備前堀の持つ歴史性と調和した和風による統一感のあるまちなみの形成)に寄与する行為に対して、助成金を予算の範囲内で交付する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成25年度～26年度助成事業: 1件(建築物の新築事業) ・建築物の新築事業: 新たに景観形成基準に沿った建築物(住宅)を建築した。(平成25年度着手)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
建築物(住宅)の建築事業		
 事業完了後の備前堀  景観形成基準に沿った建築物の建設		
 助成実施箇所		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
北三の丸通り道路景観整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	北三の丸通り(都市計画道路3・4・14号栄町若宮線)の道路改良及び電線共同溝を実施し、周辺地区の歴史的風致の維持及び向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
26年度は、整備予定区間(延長590m)のうち、延長140mの電線共同溝工事を実施するとともに、水戸東武館の移築を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
移築前  ⇒ 移築後 			
 ■ 整備予定箇所 ■ 道路改良及び電線共同溝			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成19年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、市内の民俗芸能団体の活動に対し補助金を交付し、重点区域を含む各地域の歴史的風致を生かした魅力あるまちづくりを、官民協働により推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

○助成団体：6団体（大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、水戸市民俗芸能団体協議会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会）

・助成金総額：660千円

○水戸市民俗芸能団体協議会（水戸市郷土民俗芸能のつどい）

・助成金総額：1,800千円

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本市の誇る無形民俗芸能を積極的に周知していくため、「水戸市郷土民俗芸能のつどい」の開催を通じて地域に広く発信するとともに、地域の枠にとらわれず、他市・他県と協働し、「伝統行事研修会」を行うなど、伝統技術の伝承・公開に努める。

状況を示す写真や資料等



大串ささらばやし(大串ささらばやし保存会)



田谷の棒術(杖友会)

水戸市郷土民俗芸能のつどい

開催日：平成26年9月28日

開催場所：水戸芸術館



合同伝統行事研修会（水戸若鷺会）

開催日：平成26年10月26日

開催場所：水戸市立第二中学校

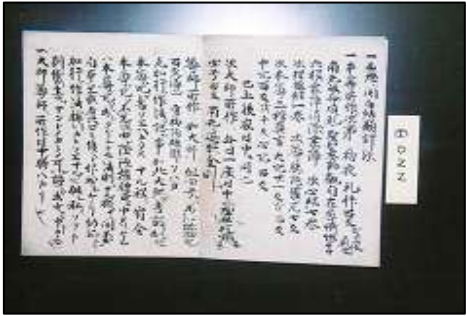
評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
文化財指定，調査，保存管理計画策定等の推進			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を，取扱に関する啓発の不足，開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため，種類別に調査を実施し，実態の把握や文化財の指定に努め，効果的な保存・管理を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成26年度水戸市指定物件】 慷慨淋漓の碑拓本・附台石(こうがいりんりのひたくほん・つけたりだいいし) 指定年月日：平成27年2月5日 明治17(1884)年に神應寺(元山町地内)の敷地内に建立された諸生派の記念碑。題字「慷慨淋漓」は会津藩第9代藩主・松平容保(かたもり)による書である。石碑は昭和20(1945)年の水戸空襲により飛散したが，拓本と台石が現存する。		【平成26年度に実施した文化財の調査】 ①石河明善日記(市指定文化財)の翻刻(年15回)，関連講座の開催(年2回) ②市指定天然記念物ヒカリモ(備前町)の調査(年9回) 【史跡の保存管理計画策定に向けた学術会議の開催】 ①史跡吉田古墳(2回) (水戸市史跡等整備検討専門委員会議) ②史跡台渡里官衙遺跡群(1回) (水戸市史跡等整備検討専門委員会議)	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		新規の文化財指定に向けて調査・研究を進めるとともに，指定文化財の保存・管理に努める。	
状況を示す写真や資料等			
平成26年度市指定文化財  慷慨淋漓の碑拓本・附台石 		文化財の調査  石河明善日記の調査  幕末から明治へ～水戸藩に吹き荒れた嵐  石河明善日記の調査	
保存管理計画の策定に向けた取組  史跡吉田古墳の保存管理計画の策定に向けた会議  史跡吉田古墳の保存管理計画の策定に向けた会議		水戸市一七	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成26年度
項目		現在の状況
文化財の修理，整備，防災事業の推進		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】文化財に対する保護・整備を拡充するため，所有者・管理者等との連携を図り，必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】防災体制，設備の整備を図るとともに，防災訓練や啓発事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【文化財の修理事業】 ○中原不動尊本堂及び厨子災害復旧事業 平成26年度から，向拝を支える柱が傾斜し，斗拱(ときょう)が破損しているため，向拝部分の屋根を部分解体し，破損している部分を同質の材で補修した。 ○横山大観像修繕工事 横山大観生誕の地にある横山大観像が傾斜したため，ずれ防止配筋工事と高さ調整モルタル修繕を実施した。 ○六地藏寺典籍文書保存修理事業 昭和48年から，六地藏寺に伝わる六地藏寺所蔵典籍・文書(県指定文化財)の保存修理を順次実施し，平成26年度は，「二六戒金抄」など計18点の文書等の裏打ち補修を実施した。 【文化財の防災事業】 ○文化財防火デーの実施(平成27年1月22日，於：善重寺，参加者59名) 善重寺の協力のもと、重要文化財に指定されている「木造聖徳太子立像」が保管されている太子堂からの出火を想定した防災訓練を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	文化財の防火・防災については，今後も周辺地域による協力体制の強化と定期的な訓練を実施していくことが重要である。 文化財の修理・整備については，市内の文化遺産説明板の老朽化が目立つものの，修繕が間に合っていないという課題がある。	
状況を示す写真や資料等		
【文化財の修理事業】 修繕前  修理前  修繕後  修理後  横山大観像修繕工事(傾き修繕) 六地藏寺典籍文書保存修理事業		
【文化財の防災事業】  中原不動尊本堂及び厨子修理事業  文化財防火デー(善重寺)		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

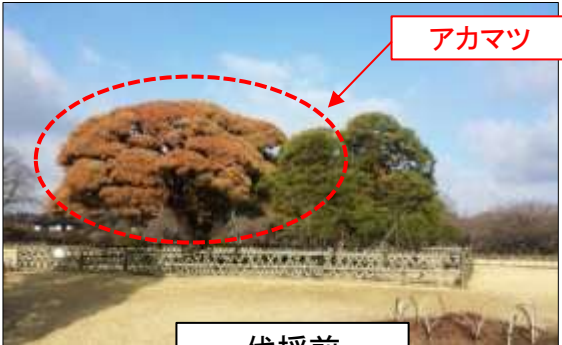
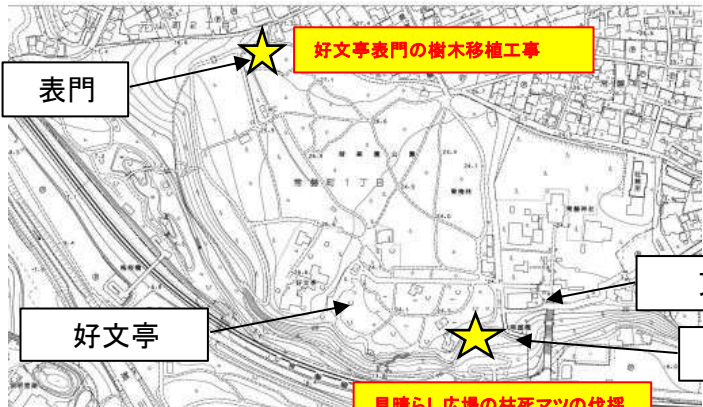
評価対象年度		平成26年度
項目		現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【平成26年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】 ①平成26年4月1日～4月15日・8月1日～8月15日・12月19～1月12日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔 ②平成26年7月30日・8月6日 水戸郷土かるためぐり 場所:くれふしの里古墳公園ほか4か所 参加者:59名 ③平成26年7月26日・9月27日 かやぶき体験教室 場所:埋蔵文化財センター 参加者:計86名 ④平成26年8月23日 ダイダラボウ大昔たんけん隊 場所:埋蔵文化財センター 参加者:71名 ⑤平成26年8月10日・24日・11月9日 勾玉をつくろう 場所:埋蔵文化財センター 参加者:166名 ⑥平成26年10月19日・25日 みと歴史講座『石河明善日記』に見る安政の大地震 場所:市立博物館 参加者:103名 ⑦平成26年10月17日・24日・29日 史跡めぐり 場所:鹿島神宮ほか鹿行方面 参加者:120名 ⑧平成26年10月18日 講演会「水戸徳川家の今昔」 場所:常陽芸文センター ⑨平成26年11月9日 風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来園者:5,500名 ⑩平成27年1月10日～1月25日 水戸郷土かるた大会 場所:市内各所 参加者:2,562名 ⑪平成27年2月21日 水戸郷土かるた中央大会 場所:茨城県武道館 参加者:371名		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も引き続き、本市の歴史的資源について、地域に向けた積極的な発信に努めるとともに、本市の魅力向上に向けた普及・啓発事業を推進する。	
状況を示す写真や資料等		
 ①文化財ライトアップ  ②水戸郷土かるためぐり 		
 ③かやぶき体験教室  ④ダイダラボウ大昔たんけん隊  ⑤勾玉をつくろう		
 ⑥みと歴史講座  ⑦史跡めぐり 		
 ⑧講演会「水戸徳川家の今昔」  ⑨風土記の丘ふるさとまつり  ⑪水戸郷土かるた中央大会		

評価軸⑤-1

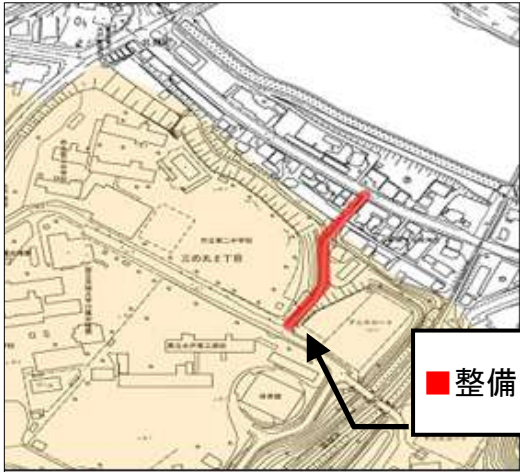
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成26年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
道場移築，安全祈る 水戸東武館	平成26年4月15日	茨城新聞	
「ヒカリモ」を観光資源に	平成26年4月19日	水戸放送局	
梅の疫病 偕楽園で調査	平成26年5月21日	読売新聞	
偕楽園で梅のウィルスの感染調査	平成26年5月21日	水戸放送局	
偕楽園の梅 疫病感染なし	平成26年6月4日	読売新聞	
偕楽園のウメ ウィルス感染なし	平成26年6月4日	茨城新聞	
天狗・諸生両派に光 錦絵や写真パネル展示 水戸市博物館	平成26年6月18日	茨城新聞	
歴史観の違いで内戦 天狗党挙兵150年シンポ	平成26年6月19日	茨城新聞	
ヒカリモ培養，公開へ 専門家ら推進委発足	平成26年7月17日	茨城新聞	
「ヒカリモ」新たな観光資源に	平成26年7月16日	水戸放送局	
ヒカリモを観光資源に 水戸で活用推進委初会合	平成26年7月18日	毎日新聞	
ヒカリモ活用 検討会が初会合	平成26年7月19日	朝日新聞	
ヒカリモを観光資源に 推進委初会合 地道な調査に期待	平成26年7月22日	東京新聞	
黄門様ゆかり 輝くヒカリモ 水戸市，観光資源へ活用	平成26年7月22日	読売新聞	
水戸に生息，藻類「ヒカリモ」 黄金色の輝き公開へ	平成26年7月29日	日経新聞	
文武両道の志感じて 弘道館復旧，震災後初の講演会	平成26年8月2日	産経新聞	
天狗党史跡巡り 敦賀の小6，水戸へ	平成26年8月4日	茨城新聞	
黄金の「ヒカリモ」次世代へ 水戸市が最適な生育条件など調査	平成26年8月5日	産経新聞	
天狗党の砲弾公開	平成26年9月25日	茨城新聞	
水戸で郷土民俗芸能のつどい	平成26年9月29日	朝日新聞	
水戸天狗党の乱 150年迎え慰霊祭	平成26年10月10日	茨城新聞	
水戸藩士桜田門外の変の首謀者 高橋多一郎の刀みつかる	平成26年10月13日	東京新聞	
子孫，幕末志士を慰霊 水戸回天神社で秋季大祭	平成26年10月15日	茨城新聞	
水戸徳川の精神現代に 15代当主・斉正さん講演	平成26年10月19日	茨城新聞	
鳶の文化，一緒に守る 茨城県連合，福島に技術を伝授	平成26年10月27日	朝日新聞	
光圀の隠居所 修復公開 西山荘の御殿 震災復旧工事ほぼ完了	平成26年11月2日	読売新聞	
復興に黄門様もご満悦 隠居地「西山荘」が修復完了	平成26年11月3日	東京新聞	
天狗党 軌跡を紹介 古河・三和資料館で企画展	平成26年11月7日	茨城新聞	
無病息災願い伝統のお磯下り	平成26年11月11日	水戸放送局	
梅まつり 花咲け弘道館	平成27年1月22日	朝日新聞	
梅まつり 「偕楽園臨時駅」今年も	平成27年1月22日	東京新聞	
弘道館と偕楽園 同時に楽しんで 梅まつり	平成27年1月22日	産経新聞	
善重寺で防火訓練（文化財防火デー）	平成27年1月23日	毎日新聞	
文化財防火デー前に寺で訓練（善重寺）	平成27年1月23日	水戸放送局	
水戸で文化財防火訓練（善重寺）	平成27年1月25日	茨城新聞	
諸生派の碑拓本 文化財に 「慷慨淋漓の碑拓本附台石」	平成27年2月11日	読売新聞	
会津藩主・松平容保の書を刻んだ碑 水戸市の文化財に 「慷慨淋漓の碑拓本附台石」	平成27年2月11日	朝日新聞	
幕末の諸生派悼む 水戸市拓本と台石，文化財に「慷慨淋漓の碑拓本附台石」	平成27年2月12日	茨城新聞	
水戸東武館移築大詰め	平成27年2月18日	朝日新聞	
城下町景観再び 大手門，角櫓復元へ	平成27年2月25日	茨城新聞	
水戸城 斉昭の謹慎で増築 「御城内御絵図」	平成27年2月28日	茨城新聞	
大根むき花を披露	平成27年3月2日	朝日新聞	
旧水戸城大手門復元を支援 実行委員会発足，募金活動へ	平成27年3月2日	茨城新聞	
斉昭公謹慎 水戸城増築じゃ	平成27年3月3日	朝日新聞	
幕末に水戸城増改築	平成27年3月5日	東京新聞	

定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で	
報道により、現場見学や資料提供等の問い合わせが県内外から集中するなどの反響があった。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	情報発信ツールの多様化に対応し、SNS等を積極的に活用しながら、本市の歴史的資源の公開活用を図る。
状況を示す写真や資料等	
 城跡の雰囲気を感じ出している市立第二中の白壁(左手)。茨城大付属小側でも工事が進む＝水戸市三の丸2丁目 城下町 景観再び 城下町・水戸を内外へアピールするため水戸市は、2015年度から水戸城大手門や二の丸角櫓の復元事業に乗り出す。大手門と角櫓の間に土塀を巡らす復元工事や城跡周辺の観光ロード化も進める計画で、完成すると、水戸駅北口から角櫓を眺めることができ、観光客は水戸城跡の景観を楽しみながら回遊できることになる。 同市文化課は1月、水戸城跡に建造されていた建物跡を検証した上で、復元可能な建物を選んだ。弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくり基本構想」をまとめた。 それによると、水戸城「二の丸跡」にあった大手門と二の丸角櫓について「古絵図、古写真が残り、発掘調査から位置や規模等を確認」と指摘、復元可能と判断した。 大手門は「世界遺産を目指す  弘道館の正門と向かい合い、水戸城跡への導入部「二の丸角櫓」は「多くの観光客が降り立つ水戸駅北口バスターミナルデッキから眺望ができる一位置にある。さらに二の丸土塁も古絵図、古写真が残り、大手門、二の丸角櫓の発掘調査から概ねの位置を確認した」とし、これらの建物の間に土塀を復元する。 併せて現在、市立第二中に整備された白壁を道路反対側の茨城大学付属小と県立水戸三高側にも設置する計画で、既に同小区間の工事が進んでいる。 同市は第6次総合計画の「3カ年実施計画」（2015～17年度）で大手門、二の丸角櫓、土塀の事業費（実施設計など）として3億5360万円を計上した。 また、城跡や弘道館を訪れた観光客らが歩いて回遊できるように、市道を歴史観光ロードとするため13億4870万円の整備費も予算化している。 復元工事は継続して行われる見通しで、市は大手門の完成は19年度を目標にしているとい  旧水戸城の大手門やまちづくり推進協議会、場では引き続き、復元「弘道館正門と向かい」二の丸角櫓の復元整備。長の大関茂氏が就任。事業に心を高める。合「大手門」、水戸市や経済界、市民による実行委員会が1日、市役所本庁舎で開かれ、市長、徳川吉正徳川ミュージアム理事長らを名譽顧問に迎えた。水戸と、弘道館・水戸城跡は2015年度にも実施設計に入り、18年度完成。二の丸角櫓は1年以上を目標に募金活動を展開する。総会会場には、市住みよい 「水戸の顔としてふさわしい歴史のまちづくりをしたい」と意欲を語る大関茂実行委員会会長。水戸芸術館ACM劇場 同事業には約10億円を必要と見込まれることから、民間からの募金で一部を賄おうと委員会が発足した。国内外の個人や法人、団 開始する。 総会冒頭にあいさつした高橋市長は「水戸の宝として、歴史遺産の復元に着手したい。し、市役所や市民会館整備など大規模プロジェクトを抱えて財政的に厳しいのが悩み。市民の参加意識を高めて財源を確保していきたい」と、協力を呼び掛けた。 総会後の「水戸の歴史」では、登壇した鈴木映一茨城大名藩教授が「大手門復元は目に見える形で歴史を後世に伝える画期的事業」と指摘。また、和田祐介水戸商工会議所会頭は「水戸は日本史や水戸学に見られる学問の地。水戸城跡には文教施設が現在も集ま。学問の聖地へ整備を」と訴えた。 （武藤秀明） 茨城新聞 平成27年 2月23日 茨城新聞 平成27年 3月2日	
 水戸市 Twitter  水戸市HP 水戸の指定文化財	

評価軸⑥-1 その他	
評価対象年度 平成26年度	
項目	
偕楽園公園整備事業	
計画に記載している内容	好文亭等現存する歴史的建造物の保存修理，表門の周辺整備，土塁整備，園路整備，植栽整備等
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
史跡及び名勝常磐公園（偕楽園）の歴史性を踏まえた環境整備を進めるとともに，より一層の魅力向上を図るため，平成26年度は次に掲げる事業を実施した。 ①好文亭表門の樹木移植工事 表門周辺の修景について，幕末期の景観に戻すため，樹木1本（キリシマツツジ）の移植工事を実施した。 ②見晴らし広場の枯死マツの伐採 見晴らし広場において，マツノザイセンチュウの被害を受け，枯死した樹木1本（アカマツ）の伐採を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	好文亭表門の修景については，段階的に樹木の移植工事が必要であるため，27年度以降も引き続き，整備を進めていく。 園内のマツを虫害（マツノザイセンチュウによる食害）から守るための対策を引き続き検討・実施していく必要がある。
状況を示す写真や資料等	
 移植前  移植後  移植先  伐採前  伐採後	
史跡及び名勝常磐公園平面図	
 表門 好文亭 東門 見晴らし広場 好文亭表門の樹木移植工事 見晴らし広場の枯死マツの伐採  表門 東門 見晴らし広場 Kirishimatsutsuji移植場所	

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成26年度	
項目	
御杉山坂道路景観整備事業	
計画に記載している内容	杉山坂(市道上市206号線)の道路改良及び電線共同溝を実施し、周辺地区の歴史的風致の維持及び向上を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
26年度は、整備予定区間(L=150m)全区間について道路改良および電線共同溝工事を実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	杉山坂は、屈曲や勾配、斜面中段の平地が古地図のまま維持されているものの、電柱が多く、現代的な歩道、車道が歴史的景観にそぐわなかったため、電線の地中化や道路拡幅、車道・歩道の再整備を実施した。
状況を示す写真や資料等	
道路景観整備事業  着手前  ■ 整備予定箇所  完了 	

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成27年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成27年5月21日(木) 午前10時00分～ (会場:水戸市総合教育研究所2階 研究室7)	
(コメントの概要)	
○進捗評価シートに関するコメント 【組織体制の充実について】 水戸市では、水戸城大手門、二の丸角櫓の復元をはじめ、水戸市では歴史的風致維持向上計画を活用したビックプロジェクトが控えている。 そのため、計画に記載されている以下の3つの会議 ・水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ ・水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会 ・水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 を積極的に活用し、事業を進めてもらいたい。 また、事務局においても、事業を円滑に進められるよう、職員が歴史まちづくりに専念できる環境づくりを目指していただきたい。 【弘道館整備事業と道路景観整備事業との連携について】 弘道館整備は県が事業主体、道路景観整備は市が事業主体だが、弘道館の魅力向上には両者の連携が欠かせない。 特に、県は弘道館の保存活用計画の策定も控えている。弘道館周辺の景観整備は市の力が必要であり、県と市が丸となって弘道館の魅力向上に取り組むよう、お願いしたい。 【文化財の保存・修理について】 文化財の普及・啓発事業は、事務局だけでなく、埋蔵文化財センターや市立博物館においても積極的に事業を展開しており、引き続き、推進していただきたい。 一方で、文化財の保存・修理については、1件あたりの事業費が大きいこともあり、文化財所有者の負担が大変である。県も市も予算確保は大変だと思うが、ぜひお願いしたい。	
	
(今後の対応方針)	
近年、水戸市では庁内横断的に一つの事業を協力して推進していく「チーム水戸」の機運が醸成されつつある。こうした水戸市の状況に対し、茨城県も関係部局が積極的にバックアップし、県と市の協力体制をより一層強化し、各種事業を推進していく。	